

第 21 回中国地区小学生ソフトテニス選手権大会山口県予選会及び 第 34 回全日本小学生ソフトテニス選手権大会山口県予選会の試合方法

平成 29 年度から上記の大会の試合方法を変更しました。内容は次のとおりです。

- 1 第 21 回中国地区小学生ソフトテニス選手権大会山口県予選会（以下「中国選手権県予選」という。）を兼ねて第 34 回全日本小学生ソフトテニス選手権大会（以下「全小」という。）山口県 1 次予選会を行う。
- 2 中国選手権県予選は、従来通りとするが、次の点を変更する。
 - ・マッチは予選リーグ 5 ゲーム、決勝トーナメント及び順位決定戦は 7 ゲームとする。
 - ・申込順位決め及び全小 2 次予選会の参考とするため、1～16 位まで順位決定戦を行う。
 - ・全小 1 次予選会を兼ねているので、男女ともベスト 32 を 1 次予選通過ペアとし、H29. 5. 3 周南市において開催の 2 次予選会に出場できる。
- 3 全小県 2 次予選会は次のとおりとする。
 - ・マッチは、すべて 7 ゲームマッチとする。
 - ・まず、第 1 シードから第 8 シードまでを除く 24 ペアを 3 ペアずつによる予選リーグを行う。その予選リーグの第 1 位のペアは、それぞれ第 1 シードから第 8 シードまでのペアと決勝トーナメント 1 回戦を行う。その勝者は、①②のブロックに分かれて決勝リーグを行い、それぞれの 1 位、2 位により最終決勝トーナメント、3 位決定戦を行う。
 - ・男子・女子ともに、上位 4 ペアを県代表とする。（H29. 7. 27～30 長浜市で開催）
 - ・今後の大会のプログラム作成の参考とするため、8 位までの順位決定戦を行う。
- 4 詳細事項（全小県 2 次予選会）
 - (1) ペア変更、棄権については、プログラム公表（大会 1 週間前）後は一切認めない。
 - (2) ベスト 32（1 次予選通過ペア）から棄権が出た場合
 - ・補充は行わない。この場合、ベスト 16 までのシードは繰り上げるものとし、棄権ペアの補充は行わない。
 - (3) 同じクラブ同士（ベスト 16 までのシードペア）の対戦については、あくまでベストメンバー選出が目的のため考慮しない。
 - (4) 予選リーグのシードペア以外（中国選手権兼予選決勝トーナメント 17～32 ペア）の組み合わせは、理事長及び強化委員会へ一任する。棄権ペアが出た場合は、予選リー

グ免除のシード上位より欠員とする。

※ 確認資料③参照：ドローイメージ

例) 1ペア棄権の場合 Aブロックの4番をなしとする。

2ペア棄権の場合 Hブロックの31番をなしとする。

- (5) ペア変更は、原則認めない。ただし、プログラム公表前、けが等のやむ得ない事情による場合は、次の付加ポイントの1/2をもとに新たなペアの付加ポイントを算出し、それを参考に理事長及び強化委員会が出場の可否も含めて決定する。

※ 付加ポイント (1/2としたとき端数があるときは切り捨て)

1位:20 2位:18 3位:16 4位:14 5位:13 6位:12 7位:11 8位:10

9位:9 10位:8 11位:7 12位:6 13位:5 14位:4 15位:3 16位:2

17位~32位:1 予選敗退:0 初参加:0